

ぷらネットこまき

<http://www.komakichiku.com/> (古牧地区住民自治協議会広報紙)



第130号

古牧だより通算223号

令和2年度 視察研修 5カ所をめぐる

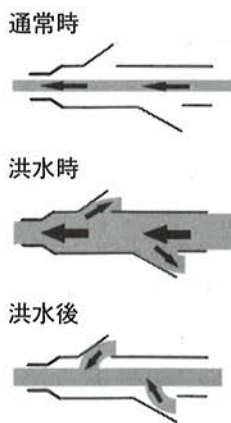
10月21(水)・22日(木)に住民自治協議会の視察研修が行われました。今年はコロナ禍の中で密を避けるため参加人数を制限しての実施。例年の半分の20名が参加し、千曲市・上越市・長岡市・糸魚川市方面の5カ所を視察研修しました。

《千曲川・霞堤見学(千曲市)》

昨年10月12日の台風19号による千曲川の増水で多数の冠水・浸水被害が発生しました。千曲市の霞堤を車窓からの見学でしたが、現在復旧工事は終わっていました。

※注

霞堤は河川堤の一つ。連続する堤ではなく、あらかじめ間に切れ目を入れた不連続の堤防が主。不連続点においては、上流側の堤防が下流側堤防の堤外(河川側)に入り込んで堤防が重複している。(図)



処理されるもので、その様子を見学しました。また、無煙炭火機は、段ボール紙・竹を入れて着火し、炎が全体にいきわたるまで少しの間煙が出ましたが、その後勢い良く燃えると煙は出なくなりました。

《上越クリーンセンター(上越市)》

上越クリーンセンターは平成29年10月に運転が開始されました。

訪問した21日は定期点検のため焼却炉は停止していましたが設備等の説明と見学ができました。

ピット内に積み上げられた可燃ごみをクレーンで移動させる作業などを見ることができました。

この施設は、一般廃棄物等を安定的かつ経済的に焼却処理するとともに、循環型社会を構築するための廃棄物処理システムを担う施設となっています。

《大河津分水路(長岡市)》

昨年10月の台風により甚大な被害が発生した信濃川水系において、国土交通省信濃川河

《株式会社モキ製作所(千曲市)》

明治41年4月6日創業の株式会社モキ製作所は、無煙薪ストーブ・破袋分別機・廃プラ洗浄脱水機等の環境機器の開発、製造販売を行っている会社で千曲市内川の国道18号沿いにあります。

ここでは担当の方から会社の沿革、商品説明があり、実際にモキ製作所が開発し、製造した破袋分別機と無煙炭火機の実演がありました。

破袋分別機は、スーパーなどで販売されているプラスチックパック入り弁当等の食料品を機械に投入して食べ物と容器が分別されて

2面下段へつづく

北八幡川の水害対策を要望

加藤市長「様々な方法を検討して対応していきたい」

住民自治協議会の小林信男会長、児嶋孝副会長、塩入茂副会長・総務部会長は10月26日(月)、長野市の加藤久雄市長に古牧地区の中心部を流れる北八幡川の水害対策について要望しました。加藤市長は、「市として水害を防ぐ様々な方法を検討して対応していきたい」と答えました。

要望項目は、①北八幡雨水調整池の整備と貯水容量の増加について、②北八幡川の水害対策に向けた恒久的な整備事業の実現について、③北八幡川の水害対策に向けた恒久的な整備が完了するまでの緊急、応急的な整備事業の実施について——です。

北八幡川は、平成24年7月20日には北八幡雨水調整池から下流において床上・床下浸水、令和2年7月21日にも床下浸水と、2度に渡り大雨による水害が発生し、広い地域で



被災翌日の北八幡川

浸水被害などが起きています。また、平成29年8月にも小規模ながら地域への浸水が発生しています。

近年、異常気象により全国各地で豪雨災害などが発生しており、北八幡川沿いにお住まいの皆さんは豪雨などの都度、水害の発生を危惧し不安を抱いておられます。



住民自治協議会ではこれまで、再三に渡る浸水被害に対して、市当局に北八幡川の河川改修などの要望を行ってきています。河川改修は原則として下流から行われることから下流域での改修は順次進んできておりますが、まだ古牧地区までの改修には至っておりません。住民自治協議会としては、今後も古牧地区にお住まいの皆さんが安全・安心な住みよい地域となりますよう活動を行ってまいります。

要望には、小林秀子市議、小泉一真市議、竹内茂市議、金沢敦志市議の4名の市議が同席しました。(総務部)

1面より

川事務所が信濃川大河津分水路の大改修を行っています。

現在の分水路は、越後平野に入る前に洪水を日本海へ逃がすため、約100年前に信濃川の日本海に一番近い地点に大河津分水路として建設されたとのことです。

同分水路の入口は広いが出口は狭いので水位が上昇しやすく、現在の川幅を拡げる工事が24時間体制で行われ、信濃川の治水対策について取り組みが行われておりました。

《大火の復興計画(糸魚川市)》

平成28年12月22日に発生した糸魚川市駅北大火は翌23日まで燃え続け、鎮火まで約30時

間にわたる大規模な火災となりました。

この大火は、住宅や店舗などの生活基盤はもとより歴史的・文化的財産も失われるほど大規模な被害をもたらしました。

研修では、市の職員から、現在、市を上げて「糸魚川市駅北復興まちづくり計画」～カタイ絆でよみがえる笑顔の街道糸魚川～として取り組んでいる復興計画の概要の説明がありました。

—— がんばれ 糸魚川市 ——

今回の視察研修で様々な施設を見学して、改めて、地域でのごみの処理、防災対策の取り組みの大切さを感じたところでありました。

(総務部)

秋のゴミゼロ運動 ～南高田区で一斉清掃～

長野市では、ごみのない美しい環境をつくるため、「みんなで作ろう美しいまち」をテーマに、今年も10月1日から市内全域で「秋のゴミゼロ運動」が実施されました。ここ古牧地区の国道18号線の東側からインター線を中心にほぼ長方形に広がる南高田区では、10月18日（日）の早朝6時から全区民参加のもと、区内10か所に分かれて道路や排水



溝の清掃、植樹帯の草取りなどの一斉清掃が行われました。

前日まで降っていた雨が上がったばかりの肌寒い早朝にもかかわらず、小学生のお子さん数名の参加もあり、皆さん元気に和気あいあいとした雰囲気です。手際よく作業が進んでいました。道路脇の植込みに空き缶が捨てられていましたが、役員さんによると、最近是这样のごみの放置は少なくなってきているとのこと。これも日頃から地区の皆さんが環境美化に心がけている成果だと思います。集められたごみの大部分が枯葉や草。これをビニール袋に詰め、回収に来た役員さん運転の軽トラに積み込んで、清掃作業は約1時間で終了しました。

これからも、ごみのない美しいまちを維持するため、引き続き地区の皆さんのご協力をお願いいたします。（環境美化部）

歴史探索

ぐるりおがまち

東和田区

再建10年 和世田神社社殿

古牧郷土史研究会 丸山正一

平成21（2009）年正月2日未明に焼出した和世田神社社殿は、社殿再建委員会によって再建を果たしました。平成22（2010）年10月31日には社殿再建工事竣工奉告祭が執り行われました。本年でちょうど10年がたちます。再建社殿は権現造（本殿と拝殿を祝詞殿で連結）で旧社殿同様の形式で再建されました。旧社殿は善光寺地震（弘化4・1847年）で倒壊した社殿を嘉永元（1848）年に奥殿（本殿）、文久2（1862）年に拝殿、明治9（1877）年に奥殿と拝殿をつなぐ神門として29年を経て整備されました。

今回の社殿再建事業は区民の心のよりどころを一日も早く再建したいという願いによって実現されました。焼け跡の片づけに始まり再建社殿の規模、設計施工業者の選定、再建資金の確保の手立て、事業の広報等課題も多く、社殿再建委員会での種々の議事を踏まえて進められました。仮宮での神事の挙行、焼



失した祭具の購入、御柱の年に当たり実施の可否と実施計画の立案、竣工祝賀会の実施要項、など多岐にわたった事業も区民や東和田の縁者、古牧地区、神社本庁県神社庁はじめ神社界、地域の事業所などの支援によって2年間で和世田神社社殿再建が実現できました。

このことを東和田の誇りとして末長く伝えていきたい。

白バラ会と総務部 合同研修会を開催

10月14日（水）古牧地区白バラ会の各区の代表の方と住民自治協議会総務部との選挙事務の合同研修会が、長野市選挙管理委員会の職員を講師に招いて開催されました。

白バラ会は選挙の啓発を積極的に行い、投票参加と明るい選挙の実現のために活動している団体です。選挙時の街頭啓発、期日前・投票日の投票所の投票立会人などをはじめ「明るい選挙推進運動」に取り組んでおります。古牧地区の各区から数名の役員が選出され、白バラ会として活動しております。

総務部は白バラ会の皆さんと一緒に期日前・投票日の投票所の投票管理者、投票立会人などを務めております。

今回の研修会はコロナ禍の中、密を避けるため出席者を制限して行われ、講師から、選



挙の投票事務の公正を確保するため、公益の代表としての投票管理者及び投票立会人の役割や業務内容、投票中の事務などについての説明や注意事項の話がありました。

本年度は、任期満了に伴う選挙は予定されておりませんが、選挙の時は、白バラ会、総務部の皆さんがお手伝いして投票所が運営されます。（総務部）

しゃばえんびつ



林道ツーリング

私の趣味は二輪車で山の中の未舗装の道を走り回ることです。

若い頃からバイクにはずっと乗り続けていますが、10年前位からいい年？をして林道ツーリングにはまり、休日の時間が許す限り近郊の山の中を一人で走り回っています。春は新緑、夏は避暑、秋は紅葉、自然の素晴らしい世界の中を満喫しています。走る道はもちろん、対向車も無し、人気も無し。遭うのは、熊・鹿・イノシシ・カモシカ・サル等だけ（鹿の大きさ、熊の色の黒さにはドキッとします*_*)。

本来、林道ツーリングは転倒・崖落ち等、単独での走りは非常に危険なのですが、誰にも気遣わず走れるのが一人のいいところ。今年は春

からコロナ禍が始まり、何かとストレスのたまる毎日でしたが、一人だけで走り回ってコロナのかやの外でした（もちろんお店等どこにも寄らず走るのみ）。

長野県は山国。そこら中に林道があります。40年位前は未舗装の道ばかりでしたが、近年ほとんどが舗装されてしまい、『じゃり道』が無くなってしまいました。

私も60歳をすぎ、腰・膝等ボロボロになってきていますが、老体にムチを打って『鉄馬』に乗り続けたいと思っています。

長野の山は、冬の季節はバイクに乗れないので、これで来春まで冬眠に入ります。身体鍛えておかなきゃ！！（大日方 広一）

11月から12月までの主な行事実施日 ▶▶▶ (回覧でお知らせします)



古牧地区の世帯数と人口

令和2年10月1日現在

11,639 世帯

26,808 人

(男 13,231人 女 13,577人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 小林 信男
■編集 ぷらネットこまき編集委員会
■印刷 ㈲小池印刷



HP
ご覧ください